

第 171 号

発行日
2025. 3.15

Super Highway
春闘速報 20

J R 東労組バス関東本部

春闘第 1 回集計、平均賃上げ率 5.46%

昨日、連合は今年の春闘で最初の集計結果を発表。ベースアップと定期昇給などを含む賃上げ率は平均で 5.46%、去年の同時期を 0.18 ポイント上回りました。トヨタ自動車や日立製作所、東急など大企業では、好調な業績を背景に満額回答が相次ぎました。連合芳野友子会長は、「実質賃金がなかなか上がってこないという状況はありますけれども、これからまた集計重ねていきますから、今後に期待をしたい」としました。

賃金の伸びが物価の上昇を上回らない状況がつづき、去年における年間の実質賃金は 3 年連続でマイナスに。今年こそ、実質賃金はプラス基調に転じるのか。来月値上げされる食品は 4000 品目にも上り家計を直撃する見込みで厳しい状況が続きます。

なかまの声

宿泊日数が増えているのに、今までの賃上げは物価高騰に苦しむ社員の声に十分応え切れていない。今春闘は社員が実感を持てる賃上げに応える必要がある。

基本給低すぎです。春闘の結果次第では転職を検討します。

やはり会社を抑制する役割は社友会ではできないと思います。本社でも退職が続いているようですが、引き止められる要素が何も無い。悲しいけれど現実です。逃げ切れる人しか残らない。組合頑張れ！潜在的に期待している社員はたくさんいる！

大手企業の満額回答、バス関東も満額回答だしてください。

要求額的にいいと思う!!世間から取り残されない様に

住宅ローンの終了が 65 才までなので定年延長を希望します

J R バス 関東 で 働く 仲間 を 一つ に !